

常任委員会 調査研究報告 年間テーマを定め活発な議論

各委員会にて1年間の研究テーマを定め、これまで積極的に調査研究を重ねてきました。また、「WEB de かけがわ議会報告会」では動画配信により、調査内容を市民のみなさんにお示しし、アンケートでご意見をいただきました。今回、その内容に基づき、市当局と議論する場として委員会協議会を開催いたしました。ここでは、議論された内容の要旨を掲載します。

総務委員会

委員長 小沼秀朗

当委員会では年間研究テーマを「市民を守る!新型コロナウイルス感染症対策」と題し、以下の5本を柱としてこれまで定期的に協議を重ねてきました。政策議会ではWEB de かけがわ議会報告会の市民アンケートのご意見を参考に協議会を開催しました。

5本の柱と協議会の主な意見

感染症拡大防止策を含めた避難所運営

- パーテーション、折りたたみ式ベッドの保管場所が旧睦浜幼稚園1箇所であるが、災害時には道路の寸断などが懸念されるため、有事に備え、早急に市内に分散して保管する必要がある
- 新型コロナウイルスに限らず、新型インフルエンザなど他の感染症にも対応できる複合災害対応マニュアルを早急に作成する必要がある
- 遺体収容所となる「さんりーな」での運営方法に感染防止策への改善が必要ではないか

外国人対応

- 自治会加入率を上げ、コミュニケーションがとれる環境を整える必要がある
- ラインアプリほか情報伝達においてわかりやすい表記方法への改善が必要である

第2次総合計画の改定

- 既存の施策にSDG sを追加することで市民に、より混乱を生じさせる恐れがある

令和3年度の財政見通し

- 市税収入も財政調整基金も減少が見込まれるなかで、第3次地方創生臨時交付金を活用した市内活性化策を講じられないか

新しい生活様式と新たなまちづくり

- 年数が経過している住宅団地等においてIoTを活用したスマートシティプロジェクトの検討ができないか
- 市の施設についても市営住宅の再編等、既存のストックを有効活用していく視点も大事である



新型コロナ緊急支援相談コーナーを視察



「とよたエコフルタウン」リモートガイドツアー

まとめ

今回の議論の中で市民への情報の伝達不足を強く感じました。今後は情報発信策の改善をよく検討するべきです。先行き不透明なコロナ禍において、市議会、当局が力を合わせ、柔軟な発想と危機対応施策にて難局を乗り越えていくよう、今後、政策提言に向けて、より議論を深めていきます。